

【奈良保険医協会 アンケート 自由意見】

山崎たよ 日本共産党 奈良4区

「命を守り育てる」このことを胸に刻んで女性運動を続けてきた私は、消費増税に頼らないで社会保障を充実し、日本の経済を立て直すことを提案します。

民主党政権は「社会保障をよくするため」の「税と社会保障の一体改革」と宣伝していますが、実際は、消費税増税と社会保障の「一体改悪」です。消費税が10%に引き上げられると、約13.5兆円の増税となりますが、そのうち新たな「社会保障の充実」に充てられるお金は、5%の引き上げ分のうち、わずか1%分、2.7兆円です。他方、削減される社会保障額は、2015年までに年金の給付減、医療費の負担増、介護利用料の負担増など2.7兆円です。既存の社会保障の財源と消費税が置き換わるだけです。

社会保障費に充てる費用の一部は、大企業、富裕層の応分の税負担で賄います。大企業の内部留保を社会に役立てれば、雇用や中小企業を守り、国民の所得を豊かにし、経済を健全なものにすることができます。

将来的には、最低保障年金の創設、医療費の窓口負担の無料化、介護の利用料を無料にするなどの施策を提案します。